

新版・技能検定学科試験問題解説集 NO.12 機械加工
訂正表

本解説集の下記ページを、以下のように訂正いたします。

●55ページ【問20】

解答と解説 解説部分2行目の公式（解答は×のままで正解）

$$\text{(誤) モジュール } (m) = \frac{\text{ピッチ円周 } (d)}{\text{歯数 } (Z)}$$

$$\text{(正) モジュール } (m) = \frac{\text{ピッチ円直径 } (d)}{\text{歯数 } (Z)}$$

新版・技能検定学科試験問題解説集 NO.12 機械加工
の解答と解説について

(お詫び)

以下の設問について、解答と解説に誤りがございました。
謹んでお詫びするとともに、以下のように訂正いたします。

222ページ

【問4】 日本工業規格（JIS）によれば、研削盤の精度検査で、
といし軸の振れは、先端円すい面（フランジ取付け部分）
に直角にテストインジケータを当てて測定する。

(誤) **解答と解説** ×

JIS B 6212 : 2006 「テーブル移動形円筒研削盤及び万能研削
盤の検査条件 - 精度検査」のG10によると、といし軸の振れは、
ダイヤルゲージを用いて測定する。

(正) **解答と解説** ○
設問のとおりである。

269ページ

【問11】 ホブ盤の機械の大きさは、加工できる歯車の外径、
歯幅、モジュール及び工作物の最大長さで表される。

(誤) **解答と解説** ×

JIS B 6013 : 1992 「工作機械 - 仕様項目」の付表25によれば、
ホブ盤と数値制御ホブ盤の能力・容量（大きさに相当）は、
切削できる外径（最大・最小）、切削できる歯幅、切削で
きるモジュール、テーブル中心線からホブ主軸中心線までの
距離（最大・最小）、テーブル上面からホブ主軸中心までの
距離（最大・最小）、工作物許容質量の6項目としている。

(正) **解答と解説** ○
設問のとおりである。